

<受験のめやす>



各級の試験の領域は、自分のことが話せることを5級とし、家族のこと、地域生活のこと、社会生活のこと、社会活動のこと、専門的分野のことというように生活や活動領域の広がりを基本に分けています。

◆ 5級

- * 手話学習を始めて6ヶ月くらいの方が対象です。
- * ろう者との会話に興味を持ち、挨拶や自己紹介（名前・家族・趣味・誕生日・年齢・仕事・住所）を話題に手話で会話ができる程度の力を問うレベルです。
- * そのために覚えてほしい単語は約200～300程度です。

◆ 4級

- * 手話学習を始めて1年くらいの方が対象です。
- * ろう者との会話をしようとする態度を持ち、家族との身近な生活や日常生活の体験を話題に手話で会話ができる程度の力を問うレベルです。
- * 1日・1週間の生活やできごと、1年の行事やできごと、思い出や予定について、曜日、年・月・日、時間に関する手話を理解し、そのために覚えてほしい単語は約500～600程度です。

◆ 3級

- * 手話学習を始めて1年半くらいの方が対象です。
- * ろう者と積極的に会話をしようとする態度を持ち、日常の生活体験や身近な社会生活の体験（友達・近所の人・職場の同僚などと、子どものこと・健康のこと・職場のことなど）を話題に会話ができる程度の力を問うレベルです。
- * そのために覚えてほしい単語は約800～1000程度です。

◆ 2級

- * 手話学習期間2年くらいの方が対象です。
- * ろう者と積極的に会話をしようとする態度を持ち、社会生活全般（旅行・学校・公的な挨拶・仕事・福祉事務所の場面等）を話題に平易な会話ができる程度の力を問うレベルです。
- * そのために覚えてほしい単語は約1500程度です。

◆ 準1級

- * 手話学習期間2年半くらいの方が対象です。
- * ろう者と積極的に会話をしようとする態度を持ち、社会活動の場面（学校・職場・地域・自治会や保護者会、サークル、趣味の活動等）を話題に会話ができ、一部専門的な場面での会話ができる程度の力を問うレベルです。
- * そのために覚えてほしい単語は約2200程度です。

◆ 1級

- * 手話学習期間3年くらいの方が対象です。
- * ろう者と積極的に会話をしようとする態度を持ち、あらゆる場面での会話を話題にし、よどみなく会話ができる力を問うレベルです。